

第537回番組審議会報告

開催日 : 令和7年5月27日(火)
場所 : 山形グランドホテル
出席委員 : 柳谷豊彦 委員長/相馬佳苗 副委員長/中川愛美 委員/齋藤義紀 委員/岡崎彌門 委員
/黒川和久 委員/佐藤善哉 委員(リポート参加)

議事内容 : ◎社側報告

1. 挨拶 横沢代表取締役社長

◎審議事項

1. 番組・視聴率関連 後藤 取締役編成業務局長兼番組審議会事務局長
2. 報道・制作関連 黒須 取締役メディア情報局長
3. 番組合評

◇ 「スーパーJチャンネル YTS ゴジダス」

月曜～金曜 第1部 16:45～17:50

第2部 17:50～18:15

第3部 18:15～19:00(県内ニュース)

※合評基準日 令和7年5月13日(火)

担当:メディア情報センター ニュース担当部長 秋葉 和弘

◎その他

内容: 山形テレビの第537回番組審議会が開かれ、「スーパーJチャンネル YTS ゴジダス」を合評しました。

国内外と県内のニュースを分かりやすく伝える番組で、日々の出来事のほか、県内のニュースを掘り下げる「火曜情報局」、グルメやレジャーなどの最新情報を伝える「水曜情報局」、県内各地からの中継、スポーツなど多彩なテーマを取り上げています。合評基準日の5月13日は、火曜フォーカスで『人口100万人割れの未来』として、県内の人口減の背景と課題を伝えたほか、高畠町で発生したひき逃げ事件の被害者の証言、シーズンを迎えた山菜と有毒植物の見分け方などを放送しました。

委員からは、

「人口減少の特集は、ここまでの流れを総括する内容で、うまくまとまっていたが、多くの要素を急ぎ足で、一気に見せようとしすぎた気もする。回数を分けてじっくり伝える手もあった。」

「人口減少の企画の直後に、『昭和の山形プレーバック』があった。活力があった時代と比較して、現状の問題を考えさせる相乗効果があった。」

「背景に流れている音楽をおさえたほうが、ニュースに引き込まれると思った。」

「有害植物に関して取り上げていたが、見分けるポイントや、採取する際に気を付けることを伝えていてポイントをおさえていた。視聴者が、家族に注意喚起しようと思ったのではないか。」

「高畠町の重症ひき逃げ事件に関して、被害者に取材したことは、手間と時間もかかり大変だったと思うが、報道機関としては大事なことだったと思う。」

「『人口100万人割れの未来』というタイトルは絶妙だった。」

「『100万人割れ』というネガティブな言葉だが、未来につながるという内容だというメッセージを感じた。」

「人口減少について継続的な報道を特に期待したい。」などの意見が出されました。

以上